学校経営方針

1　学校経営の理念

公立学校の使命と教育の専門家として重要な職責を担っているという誇りと自覚を持ち、これまで本校で実践されてきた教育活動を新たな気持ちで継承・充実させるとともに、明確なビジョンをもって教育活動を推進し、子どもも教職員も自らの成長を実感できる、元気で魅力ある学校を目指します。

また、学校は楽しくあるべきで、子どもたちが目を輝かせて学習し、心身ともに健康で人間性豊かな子どもを保護者･地域とともに育て、笑顔いっぱいの学校づくりに「チーム伊尾木」として全教職員の総和を結集して取り組んでいきます。

2　学校経営の基本的な考え方　　校訓：「自主」「勤労」「協同」＝（校歌の歌詞にもなっている）

⑴「伊尾木小児童の幸せと健やかな成長のため」を常に基軸とし、教育目標の達成をめざします。

⑵伊尾木小のよき伝統と校風を継承しつつ、新たな（「児童を中心とした」「特色ある」「魅力ある」「力をつける」）教育活動を創造し、展開していきます。

⑶“地域あっての学校、学校あっての地域”を合い言葉に、子ども・保護者・地域の人々に信頼され、元気と活力を発信できる「地域の学校」をめざします。そして、「児童が心から楽しいと思える学校」「保護者も通わせて安心できる学校」を目標に取り組んでいきます。

⑷常に授業力向上（複式授業）をめざす実践を心がけ、全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現に取り組んでいきます。

学校は楽しく、頭と体を鍛え、心を磨くところ

保護者にとって	児童にとって	教師にとって
○安心して子どもを任せられる ○意欲を持って学べるような授業をしてくれる ○先生は何でもよく相談にのってくれる ○学校は、信頼でき、教職員と気軽に話せる ○学校は、よく情報発信をしてくれる ○学校の敷居が高くない	○学校が好き（学校に行きたい！） ○自分たちの意見を聞いてくれる ○自分に合ったやり方で勉強させてくれる ○友だちや先生と楽しく過ごし、楽しく遊ぶことができる ○褒め言葉・励まし言葉に溢れている ○心も体も健康で元気	○子どもたち一人ひとりのよさを伸ばそうとしている ○子どもの声を聴いている ○保護者と信頼関係にある ○自ら問いを持ち，進んで学ぶ子どもの育成をめざしている ○職員同士が理解し合い、助け合い、信頼し合える職場である ○組織の一員として、同じ目標を共有・実践している

教　育　目　標

豊かな心を持ち、共に学び合う、元気でたくましい伊尾木っ子の育成

め　ざ　す　学　校　像	め　ざ　す　児　童　像	め　ざ　す　教　師　像
○豊かな学びのある学校 （基礎・基本の定着、学力向上） ○温かな心の交流のある学校 （あいさつ、本に親しむ、思いやり） ○活気あふれる学校 （体力づくり、きれいな学校環境、朝を大切に）	○主体的・協働的に学ぶ子 ○「思いやりの心」「感謝の心」「たくましい心」そして、健康な体を持つ子 ○臆せず堂々と表現でき、コミュニケーション力を持つ子（元気にあいさつのできる子）	○常に子どもに軸を置き、考え、実践する教師（公僕の自覚）（子どもの声に耳を傾ける子どもの伴走者としての教師）（指導から支援へ） ○健康で明るく、共に汗をかきながら働く教師 ○自己研鑽に努める教師 ○子ども一人一人の学び(可能性)を最大限に引き出す教師

3　目標具現化に向けた本年度経営方針

⑴複式授業をより充実させる研究･実践 → 基礎学力の定着と自ら課題を見つけ、解決する力の育成

⑵子どもの声を聴き、子どもの自尊感情・規範意識を高める学級経営

⑶体力・運動能力の向上の推進を図り、元気でたくましい体の育成

⑷「防災教育」の更なる取組の充実・強化

⑸保護者・地域とより密接な連携“地域の伊尾木小学校”